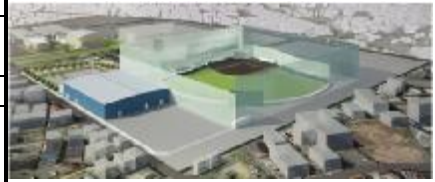


CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	貝塚グランド 屋内練習場棟	階数	地上2F
建設地	大阪府貝塚市半田82番1他14筆	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	50 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2015年9月24日
敷地面積	35,040 m ²	作成者	大林組 浅野 英治
建築面積	3,555 m ²	確認日	2015年9月24日
延床面積	3,802 m ²	確認者	大林組 浅野 英治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		その他
総合 企業スポーツの練習場として、耐久性の高い外装材を採用しローメンテナンスに配慮した。グランド部分の雨水処理は浸透と貯留を併用し、既存下水インフラへの負荷低減を図った。野球場外野部分は天然芝とし、緑化率の向上に貢献した。		0
Q1 室内環境 窓は容易に開閉できる引違い窓を採用し、中間期の空調エネルギーが少なくなるように配慮した。	Q2 サービス性能 シンプルな間仕切り構成と使用材料により将来の可変性にも配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の大部分は土や芝生で覆うことでヒートアイランド抑制に貢献した。
LR1 エネルギー 設備機器の効率化を図った。	LR2 資源・マテリアル 敷地の大部分を土や芝など天然材料を採用した。	LR3 敷地外環境 道路に面する外構を積極的に緑化した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0065

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】	建物名称	貝塚グランド 屋内練習場棟					
	建設地	大阪府貝塚市半田82番1他14筆					
	用途/区分	集会所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					5	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
省エネ対策		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	5.0	5	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体: 1.0 住戸・宿泊:	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		4.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		3.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		2.5
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				